

報道関係者各位（教育、地方自治、地域活性、労働ご担当者）

2021年6月18日

認定NPO法人キーパーソン21

子どもたちの主体性を引き出す キャリア教育プログラムで協働を開始

～認定NPO法人キーパーソン21が大津中央ロータリークラブと～



2021年4月25日、キーパーソン21は、大津中央ロータリークラブと協働し、大津市の子どもたちへキャリア教育プログラムの提供を開始しました。

キーパーソン21は、やる気の源泉である「わくわくエンジン」を見つけ、主体性を引き出すキャリア教育プログラム「夢！自分！発見プログラム」を20年に渡り、全国の子どもたちに提供しています。



（2021年4月25日大津中央ロータリークラブと協働わくわくナビゲーター13名が誕生）

概要

2021年4月25日、キーパーソン21は大津中央ロータリークラブと協働し、大津市の子どもたちへキャリア教育プログラムの提供を開始しました。

キーパーソン21は、やる気の源泉である「わくわくエンジン」を見つけ、主体性を引き出すキャリア教育プログラム「夢！自分！発見プログラム」を20年にわたり、全国の子どもたちに提供しています。

今回大津市との協働提携により、2021年4月25日大津中央ロータリークラブの方々がキーパーソン21の「わくナビ養成講座」を受講、わくわくナビゲーター13名が誕生しました。これにより、現地の子どもたちへのプログラム提供が開始され、6月5日には大津中央ロータリークラブのメンバーによる児童養護施設湘南学園へのプログラム実施も実現しています。

【これまでの流れ】

- ・2019年12月13日大津中央ロータリークラブの講和への登壇
- ・2020年3月30日「NPO 経営の代表者としてコロナ禍工夫したことの座談会トーク」収録
- ・2021年4月25日わくナビ養成講座により、わくわくナビゲーター13名誕生
- ・2021年6月5日大津中央ロータリークラブのメンバーによる児童養護施設湘南学園へのわくわくエンジン発見プログラムの実施提供
- ・2021年6月19日報告会開催予定

大津市での今後の展望



本プロジェクトを通じて、「自己肯定感が高まり、自分のことが好きになる」「自分のやりたい事に気づく」「将来に向けて自分の生き方を模索するとともに、具体的な展望を持つ」など、自立・自律した子どもたちが大津市に溢れることを目指します。また地域の大人と関わり、活動や経験を増やすことで、子どもたちが地域とのつながりに気づき、地域のつながりが強化されます。

プログラムの詳細

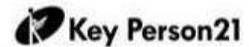
経済産業省主催「キャリア教育アワード経済産業大臣賞（中小企業部門）」を受賞した、子どもたちのやりたい！を引き出す「夢！発見！プログラム」とは、これまで全国各地で20年間、53,266人（2021/3/31付）の子どもに提供してきたキャリア教育プログラムです。



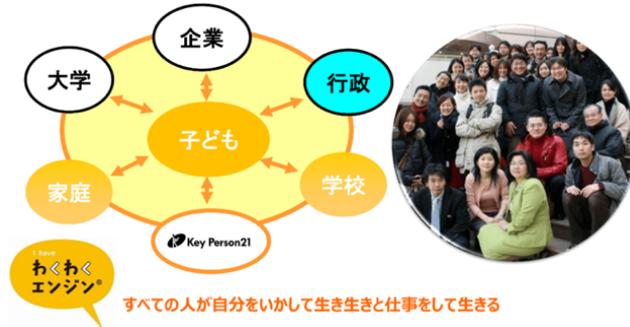
2/5

地域の大人たちとの出会いの中で、子どもたちが将来の仕事や生き方を考え、本当に大切にしたいことに気づき、主体的に人生を選択して動き出す力を育みます。多数の学校で授業に導入されている教育効果の高いオリジナルのプログラムです。

キャリア教育でつながる地域づくり



資料 キーパーソン21 団体概要



2000年に教育NPOとして創設。当初より「集団の教育」から「個への教育」へ、一人ひとりの中にあるわくわくエンジン（自ら動き出さずにはいられない自分だけの原動力）を大切にもう一步踏み込んだキャリア教育「夢！自分！発見プログラム」を5万人以上に

届けています。第7回キャリア教育アワード最優秀賞（経済産業大臣賞）受賞。団体としてグッドガバナンス認証取得（アドバンス認証）。

キーパーソン21ではあらゆる大人たちが次世代を育むために一緒になって本気で力を注ぐ社会を目指し、持続可能な地域づくりを行っています。私たちは以下3者を重点的に対象とした活動を行っています。

- ・親：親子の相互理解を深め、子どものやりたいを引き出すオンラインプログラム
- ・学校：先生が生徒のやりたいを引き出すプログラム
- ・企業：上司と部下がお互いの意欲の源泉を見出すプログラム

(参考) キーパーソン21の取り組みの強みと独自性 Key Person21

	キーパーソン21の取り組み	他団体、他キャリア教育プログラムの取り組み
大人対子ども	大人1名 対 子ども1名～6名程度。 対話ができる人数ですめることができる。	ほとんどの場合、大人1名対子ども多数。
内容	“自分を知る”ということからはじめるキャリア教育を提供。 プログラムによって自分を知ること、初めて自分の軸を持ってどう社会とつながるか、自分を活かすことを考えることができ、自律に向けて進むようになる。 そのプロセスに貢献できるプログラムがある。	“社会を知る”（職場体験、インターンシップ、職業人講話等）が中心。 経験は積み重なるが、それだけでは自分と社会をつなげにくい。
自分を知る方法	ゲーム形式で、大人と対話をしながら楽しくすすめることができる。 プログラムで使用するワークシートの中の言葉は、本人の内から出てきた言葉のため、納得感がある。 自分を知るプロセスを知ること、主体性が芽生え、自分で考えるきっかけをつかみ、自ら選択し、行動する力が身につくようになる。	適正検査等、テスト形式が中心。あくまでも自己理解をするための補助的なものにはすぎない。 きちんとした大人のフィードバックがなければ、時に本人に違和感をもちやすくなる。
関わる大人について	子どもたちを認める、子どもたちからの言葉、可能性を引き出す等を会得できるよう、ファシリテーションとコーチングの要素を盛り込んだ実践型、アクティブ・ラーニングの手法による事前研修が提供できる。 地域でプログラムを実践できる『わくわくナビゲーター（プログラムのファシリテーター）』が養成される。事前に地域の大人たちに対して研修をすることによって、プログラム中の子どもたちだけの姿でなく、地域で子どもたちを支援する大人にも変容をもたらすことができ、その後の子どもたちを応援する意識が醸成される。 お互いを認め合える温かな関係性が教育を通じた地域に愛着が持てる持続可能な地域づくりにつながる。	もともと持っている大人のリソース頼り。 子どもたちへの対応にばらつきがある可能性がある。

プログラムを通じてあらゆる大人に温かく真剣に向き合ってもらえたという体験は、その先を生きる子どもたちの何よりの励みとなります。子どもも大人も自分自身のわくわくエンジンの発見を通じて、地域の魅力とつながり、こうしてみたいという地域の未来が描けますように、キーパーソン21はプログラムを地域のみなさんで運営できる仕組み“わくわくするまちづくりプロジェクト”を提供しております。

代表理事 朝山あつこ略歴



わくわくして動き出さずにいられない原動力「わくわくエンジン®」の発見提唱者。

長男の中学校の学校崩壊がきっかけで、大人も子どもも、自分を活かしていきいきと仕事をして生きてほしいと願い、2000年にNPO設立。

「夢！自分！発見プログラム」を開発し、学校、企業、行政、大学、PTAなどと連携し、“一人ひとりのわくわく”から主体的になるキャリア教育を北海道から沖縄まで全国に展開中。これまで、5万人を超える子どもたちにプログラムを提供してきている。

日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2005」クリエイティブ部門受賞。

神奈川県立の大学における男女共同参画推進プログラム検討委員や、

企業のCSR教育プログラムアドバイザー、その他、多数の企業や教員研修を務める。

2017年 経済産業省主催 キャリア教育アワード 中小企業部門最優秀賞を受賞。

2018年 内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省の三省連携シンポジウムで基調講演。

2019年～ 相模原市総合計画審議会委員

著書：「ふつうの主婦が見つけたやる気のエンジンのかけ方」

以 上